

<第一回 半年前の今、やるべきこと> (2023.11.04 インタビュー)

今回は、第一回ということで、「半年前の今、やるべきこと」というテーマで話を聞いてみました。

—聞き手：こんばんは。「アマチュアマジックサークルの発表会に関して」ということで、話をきかせていただければと思いますので、よろしくお願いします。今回は第一回ということで、私たちにとっての大舞台である、第22回発表会まであと半年（インタビューは2023年11月4日実施）となった今、まずは何をすれば良いか教えてください。

—会長：はい、こんばんは。確かに発表会まで約半年ということで、そろそろ準備を開始しないといけないね。あ、もう準備を始めている、それはいいことです。さて、準備といっても、日程と会場確保はすでにできているということで、その話は省略して、その次ということだな。

—聞き手：そうですね。2024年5月26日（日）に茅ヶ崎市民文化会館で実施するという事は確定しておりますので、会場確保以外についてよろしくお願いします。

—会長：日程と会場確保ができているのであれば、やらなければいけないのはどういう発表会にするかを決めることだね。その決める上で重要なことのひとつが財源の確認だね。いわゆる開催経費だ。どういう発表会にするかという考えをまとめるとともに、自分たちの財源も確認し、そのバランスを相談して決めることになる。つまり、来年度の発表会にいくら使えるかということを含め、発表会の予算を考え、それと並行してどういう発表会にするかを考え、いまの財源で描く発表会ができるのか、財源が不足する場合は、妥協する部分はあるのか、新たな財源確保はできるのかを考えた方がいいね。

—聞き手：発表会を開催するにあたって、お金がかかる部分といいますと。。。

—会長：うん、まずは、ゲストマジシャンをどうするかだね。茅ヶ崎周辺にマジッククラブはいくつかあるんだけどね、大体はゲストマジシャンを呼んでいるね。湘南マジシャンズクラブは、茅ヶ崎市民文化会館ではなく、集会所で実施した第一回の発表会を除いて、毎回プロのゲストマジシャンを呼んでいるわけだ

が、それは私の考えとしては、ゲストマジシャンは呼んだ方がいいとは思うね。とはいえ、ゲストマジシャンを呼ばないクラブ、そして発表会も多くあるんでね。呼ばなければいけないという決まりはない。要するにだ、わざわざきていただいたお客さんによるこんで頂けるマジックショーを行うことが一番大事で、それができれば、それでいいわけだからね。この、ゲストマジシャンをどうするかは、お金だけでなくショーの全体構成にもかかわることだから、早めに考えた方がいいね。

—聞き手：他にはありますか？

—会長：発表会に来てもらったお客さんに楽しんでもらうためにも、講師には通常の講習会とは別に発表会用の演技指導料を払って指導を受ける必要があるんだけど、それにいくら費やせるかを考えることで、いつ頃から講師による特別演技指導を受けるかが決まるんだな。これを考えると、さらに遡っていつ頃までに自分の中で演技を完成さえるべきかがわかり、いつ頃までに演技内容を決めるかが必然的に決まるわけだな。つまり、演目の選定～演技の確立までのスケジュールが決まってくる。

—聞き手：演目というと、リングのマジックとか、ロープマジックとか、そういうことですか？

—会長：いやいや、それらは道具であって、決めるのは演目だよな。「リングマジック」といっても「3本リング」「シンフォニーリング」などいろいろのやり方がある。「ロープマジック」といっても、「三本ロープ」「三色ロープ」「ロープ切り」などたくさん種類がある。講師に指導を受ける前に、どういう演技をどういう見せ方でやるというのを自分なりに確立する必要がある。もちろん、指導によって内容は磨きあがるわけだけど、「こんな感じのマジックをします」というレベルでは講師も困るのでね。

—聞き手：いま、私たちには、副会長より年内（約5か月前）には全員何をするか決めるように指示がでており、それぞれですでに演目を考えている段階です。このタイミングは早いですか？

—会長：いやいや、早い方がいいんだよね。早めに決めて、早めに練習をして、繰り返し手直しをしていくことが必要なんだよな。そして、2か月前には、手順

と曲などがすべて確立し、その後に講師に演技を見てもらい、確かな目で手直ししていくというのがいいんだよね。

—聞き手：わかりました。12月末には各自が演目を確定。その後自分たちで互いの演技を見ながら演技を確定します。他には何かありますか？

—会長：他にお金がかかるといえばステージ効果、特に照明だね。照明については、基本料金のほかにオプションでいろいろな効果が選べるが、私はあまり複雑なことは要らないと思うんだよね。マジックは演技を見てもらうのが一番なので、照明とかバックライトなどにこだわると、一見すると見栄えはいいが、マジックの不思議さを消す場合がある。ムービングスポット（稼働式スポットライト）を用いたり、背景の光に動きを与えたりすると、マジックの目的である不思議さが薄まる場合がある。照明に関しては、シンプルで目立たないものもいい。そんなところかな。

—会長：結論としては、財源をまず確定し、その後にそれをどう割り振るか、通常の活動経費を引き、発表会にいくらかけられるか。そこには、ゲストマジシャンをどうするか、講師への発表会用の指導をどう頼むかなどを考える必要がある。それにより、発表会までの練習をいつから何回お願いするか？それによって演目をいつまでに決めて、いつまでに演技内容を確立するかが決まってくるからね。

—聞き手：わかりました。ありがとうございます。まずは、クラブとしては財源の確定、そして個人としては演目の確定を急ぐことですね。早速考えてみます。ありがとうございました。

（終わり）

※次回は、「発表会と大会について」として、私たちのショーを「発表会」とした会長のこだわりを聞く予定です。